

ちょっとひと工夫

NO. 5

— 家庭学習改善のための情報 —

教学指導課

生徒とともに進める家庭学習の改善

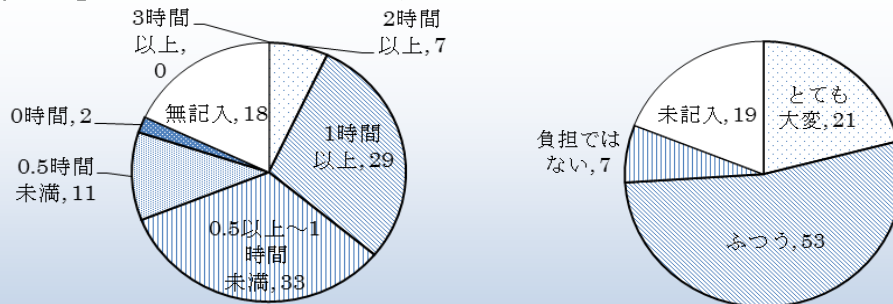
家庭学習モデル校の鼎中学校では、家庭学習の見直し、改善を図るにあたって「実際にどのくらいの時間を家庭学習に使えているのか。部活動や社会体育もある中で過度な負担となっていないか」という先生方の意識がありました。また、校長先生も「作業的になっている家庭学習を改善していかなくてはならないが、現実の生徒の生活スタイルを無視して家庭学習を考えることはできない。」という思いがありました。これらのことから、**生徒の目線に立つこと**を最優先とした家庭学習改善の取組がスタートしました。



1 生徒の家庭学習の実態把握 (H27 年 2 月)

夏期、部活動・社会体育がない日とある日について、学年ごとの「家庭学習の時間」「家庭学習についての負担感」をアンケート調査しました。

【調査結果から】(グラフは一部抜粋 単位は%)



【2年生:家庭での学習時間(部活・社会体育あり)】 【2年生:家庭学習の負担感(部活・社会体育あり)】
○現状の家庭学習に、**過度な負担感を感じていない生徒が多いもの**、生徒の生活スタイルを考えると、部活動や社会体育がある日では、家庭学習に使えるのは**1～1.5時間**くらい。

2 家庭学習体験会 (H27 年 4 月)

実際にどのくらいの時間がかかっているのか、どのような思いで取り組んでいるのかを体験するための会を職員研修として開きました。先生方からは、次のような感想が出され、内容と分量の見直しの必要性が、さらに高まってきました。

- ・思ったより時間がかかると感じた。部活動後、これが毎日となると、**けっこう大変かもしれない**。
- ・限られた時間の中で、これだけやろうとなると、考えたり覚えたりすることよりも**写すことが中心**になってしまう。特にまじめに取り組む生徒は大変。その大変さを効果的に力に結び付けたい。

3 教科会、職員会での家庭学習の見直し (H27 年 5 月～)

現実の生徒の生活スタイルの中で、より効果的な家庭学習にするために次の視点で見直しが進められました。

1 家庭学習のねらいの明確化

「その課題の効果、つく力」を生徒が意識できるようにし、作業的な家庭学習からの脱却を図る

2 「現実の生徒の生活スタイル」に合わせた家庭学習

自分の生活スタイルに合わせて内容や分量が選べるシステムづくり

3 学年の発達段階に即した家庭学習

1年生へのガイダンスと学年(個)に応じた家庭学習のあり方を検討

4 授業との関わり

その日の学習内容を振り返り、まとめる家庭学習の位置付け、家庭学習での疑問や誤答を生かした授業づくり

5 評価に関わって

- ・定期テストに家庭学習の内容を盛り込む
- ・提出回数、提出率は評価対象から外す



【国語】授業終末の5分で「わかったこと・要約・要点」をまとめ、家庭学習では、それを**百字帳** 1ページに再要約してまとめる。

【数学】**プリントによる家庭学習**と、教科担任がその時の学習内容に合わせて指定した**問題をノートに取り組む家庭学習**を組み合わせる実施。3年生は20問プリントを実施し、その採点を地域ボランティアの方をお願いする。

【英語】単語を書いて覚える際に、音読(声に出して読む)も取り入れ、**五感を使って、スペル、意味、発音を一体的に学ぶ**家庭学習にしていく。

4 「家庭学習のあり方プロジェクト」の実施

新しい内容、方法へ取り組む中で、先生方の課題となったのが、「**生徒はこの家庭学習をどう受け止め、取り組んでいるのだろうか**」ということでした。そこで、夏休みを利用し、家庭学習について、生徒の考えを聞き、ともに考える「**家庭学習のあり方プロジェクト**」を7/2、7/29、8/17の3回にわたって行いました。(参加者は国語、数学、英語の教科担任と、各クラスの参加希望生徒と代表生徒)

【第3回(8/17)の様子から】



国語の授業がある日は再要約。ない日はテスト形式にするなど工夫した漢字練習をする。

数学でわからない問題をノートに書いて質問できてよい。直接、聞けない人もいるので。

数学の宿題が金～日ないのは、社会体育をやっているのうれしい。忙しくない時はプリントをもらってできるのもよいと思う。



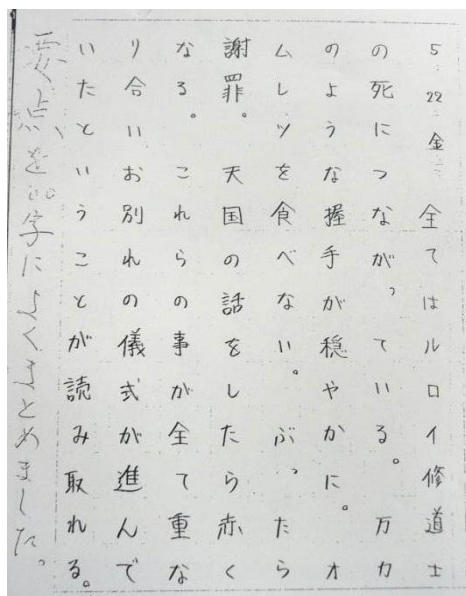
英語は単語練習も大切だと思うけど、長文の問題も宿題であったほうがよいと思う。



単語の練習でも音読でも、発音を忘れていたり自信がなかったりする時があって困る。



今、作成中ですが、鼎中のHPに「**学びの部屋**」を作っています。英語の単語が出ていて、クリックするとその**単語の発音を聞くことができます**。みんなの家庭学習に役立つものを用意して応援します。



【国語】百字帳への再要約



第3回プロジェクトの様子

このプロジェクト後、各教科で生徒の意見を取り入れた再検討が進められています。

◇鼎中学校の取組のよさに学ぶ

鼎中学校の取組のよさ

- ・教科としてつける力、家庭学習のねらいを明確にし、生徒の目線に立って、改善を進めている。
- ・改善した内容も検証を繰り返し、より生徒の実態に合った効果的な内容となるよう検討を続けている。

家庭学習の改善が各校で進められています。どこからどのように改善していこうか迷われているときは、鼎中学校のように、学習の主体である生徒の意見を聞いたり、意識調査したりしてみるのはどうでしょうか。授業と同じように、「**生徒とともに学ぶ家庭学習**」を進める鼎中学校の実践に学びたいと思います。